# 令和８年度　ちはら台地区社会福祉協議会　全体計画

| 活動部門 | 内　　容 |
|---|---|
| 総会 | 年１回：令和８年４月 26 日(日)　午前 10 時 |
| 理事会 | 年３回：７月５日、10 月４日、令和９年４月 11 日（日曜） |
| 役員会 | 毎月総務会時及び必要に応じて実施 |
| 部会連絡会議 | 年４回：６月７日、９月６日、12 月６日、令和９年２月 14 日（日曜） |
| 第２層協議体会議 | 年４回　部会連絡会議終了後に実施　,, |
| 地域主体の子供の見守り事業 | ７月から実施 |
| 音楽演奏会 | ７月 18 日（土）　ちはら台コミュニティセンター |
| ちはら台福祉のつどい | ９月 20 日（日）ちはら台コミュニティセンター |
| 福祉バザー | 11 月８日（日）　ちはら台コミュニティセンター文化祭にて実施 |
| 地区福祉行動計画推進員会 | 令和９年１月 31 日（日） |
| 災害ボランティア研修 | 令和９年１月 31 日（日） |
| 市社協会議関係 | 市社協評議員会　３回　地区社協連絡会　６回 予定 |
| 役員研修会 | 令和９年３月６日（土） |
| 広報活動 | 広報誌「かずさのみち」６月、２月　年２回発行予定 |
| 部会活動 | |
| ①　総務部会 | 地区社協事業部門のバックアップ及びイベント等の実施<br>・事務局運営と財源の確保<br>・人材育成事業の開催　演奏会　福祉のつどい　実施<br>・理事会、部会連絡会及び役員研修会等の招集開催<br>・福祉バザー実施　　・防災訓練の研修会実施（検討）<br>・中学生の学習支援の推進 |
| ②　直接支援部会 | 住民相互の助け合い活動の充実・強化　（直接支援者の募集等）<br>住民の日常生活上の困りごとなどの相談（出張相談会等）を充実・拡大。 |
| ③　見守り支援部会 | 独居の高齢者･障がい者が安心して生活できるよう定期訪問を実施。<br>生活上の問題点を把握し、関係する援助組織へ情報提供を実施。 |
| ④　児童支援部会 | 子育て中の親子が自由に参加し、相互に交流が図れる場の提供<br>子育て相談支援と情報の提供。<br>（子育て広場・すまいる・広場のびのび） |
| ⑤　高齢者支援部会 | 地域高齢者のコミュニケーションを図り、健康増進と生きがい造りを推進すると共に地域での孤立化を防止。<br>（ふれあい広場・憩いの広場） |
| ⑥　障がい者支援部会 | 障がい者が健常者と共に、ユニバーサルスポーツ・ミニコンサート、野外体験等を通じ、心と体の健康維持・向上のための支援活動の実施。 |
| ⑦　小域福祉ネット部会 | 小学校区ごとに、子どもの見守りや居場所づくりを推進し防犯・防災活動、安心・安全な街づくりに取り組む。 |

令和８年度　ちはら台地区社会福祉協議会　部会別活動計画

## 総務部会

| 部会名 | 総務部会 | 部会長名 | 山口　誠 | 会員数 | ８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 部会目標 | ・福祉活動拠点（事務所）の運営と財源の確保<br>・部門間の活動情報の共有化による連携の強化と福祉サービスの更なる向上<br>・全体行事の開催<br>・各種会議の円滑な運営 | | | | |
| 取組事業 | 定例会議の開催<br>・定期総会 令和８年４月２６日開催<br>・理事会 年３回、部会連絡会議 年４回開催予定<br>・総務部会 毎月１回開催 年１２回開催予定<br>・各会議の議事録の作成<br>イベント等の開催<br>・演奏会の実施　７月１８日予定　出演者招聘<br>・福祉のつどい　９月２０日予定　事業内容の検討<br>・福祉バザー　　１１月８日予定<br>・地区福祉行動計画推進委員会　令和９年１月３１日実施予定<br>・災害時対応講習　令和９年１月 31 日実施予定<br>・役員研修会　令和９年３月６日実施予定<br>・中学生の学習支援の実施　週２日予定<br>各部門の調停業務<br>・各部門の予算確保と決算の確認<br>広報紙「かずさのみち」作成<br>・６月、２月予定 | | | | |

## 直接支援部会

| 部会名 | 直接支援部会 | 部会長名 | 立石裕子 | 部会員数 | 51 名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 部会目標 | ・相談者・利用者の日常の困りごとを伺い、支援者と共に対応する。<br>・「福祉の総合相談会」を開催する。（毎月第３土曜日）<br>・「たすけあい隊」の支援の周知を広める。<br>・直接支援者（ボランティア）の方と共に、講習会・研修会などを行う。<br>・直接支援者（ボランティア）の募集、育成を進める。 | | | | |
| 取組事業 | ① 相談・直接支援受付窓口　　②直接支援 | | | | |

| 事業名 | 相談窓口及び「たすけあい隊」受付窓口 | 事業名 | 「たすけあい隊」直接支援 |
|---|---|---|---|
| 責任者 | 安部富見子 | 責任者 | 伊藤千恵子 |
| 実施会場 | 窓口（地区社協事務局内） | 実施会場 | 各支援場所 |
| 事業内容 | ・受付窓口：<br>１）相談支援は、利用者から | 事業内容 | 預かり・見守り（乳幼児、高齢者） |

| | | | |
|---|---|---|---|
| | の相談内容を聴き取り、直接支援「たすけあい隊」や関係機関等を紹介する。<br>２）直接支援は利用者のニーズに対応し、支援者と結ぶコーディネイトをする。<br>３）福祉の総合相談会のとりまとめをする。 | | 付添い（買い物、通院、公共機関）<br>家事（掃除、料理、草刈り、電球の取り替えなど）<br>代行（買い物、不用品の処分など）<br><br>＊謝礼金（１回１時間以内 800 円） |
| 年間予定 | ・窓口担当者会議<br>奇数月　第４火曜日　年 6 回<br>・福祉の総合相談会<br>毎月　第 3 土曜日　年 12 回 | 年間予定 | ・たすけあい隊ボランティア会議<br>年２回（7 月、2 月予定）<br>（講習・研修会または交流会など） |

## 見守り支援部会

| 部会名 | 見守り支援部会 | 部会長 | 金子　隆由 | 会員数 | 19 名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 部会目標 | ・独居の高齢者及び障碍者の方達が安心して生活できるように定期的に自宅に訪問する。<br>・生活上の問題点を把握し、関係する支援（援助）組織へ情報提供する。<br>・活動の周知を図り、見守り訪問員と見守り対象者の拡大につなげる。 | | | | |
| 取組事業 | 見守り訪問員による見守り支援事業 | | | | |
| 事業内容 | ① 安心訪問員による見守り支援活動の継続と対象者の発掘拡大。<br>②安心訪問員の新規確保と学習会（研修会２回）を開催しスキルアップを図る。<br>③安心訪問員の活動要請講座の開催。<br>④部内会議の開催　：　原則毎月１回開催（年１０回８月・１月休会）<br>・見守り対象候補者の検討及び見守り結果報告と情報交換を行う。<br>⑤各自治会及び自治会連合会との情報交換、協働活動を進める。<br>⑥直接支援部会及び民生児童員との相互の情報提供を行う。<br>⑦その他、福祉関係諸団体（市社協・地域包括センター等）との情報共有を行う。 | | | | |

## 児童支援部会

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 部会名 | 児童支援部会 | 部会長 | 河本 千鶴代 | 部会員数 | ３５名 |
| 部会目標 | ① 子育て中の親子が自由に参加し、相互に交流をはかれる場の提供<br>②子育て相談支援ならびに情報の提供<br>③他事業、他団体と連携した福祉コミュニティづくりの推進<br>④共生型サロン事業の充実 | | | | |
| 取組事業 | ① 親子交流、集いの場の提供<br>② 子育て相談窓口支援、子育て支援情報の提供（インスタグラムの活用） | | | | |
| 事業名 | 子育て広場 | 責任者：海宝　順子 | | | |
| 実施会場 | ちはら台コミュニティセンター2 階会議室 | | | | |
| 事業内容 | ①『子育て広場』の年間活動計画策定と円滑な運営(企画型)<br>②親子交流の場の提供と子育て相談窓口支援 | | | | |
| 年間予定 | ○『子育て広場』開催<br>・毎月　第 2 木曜日（8，1 月はお休み）<br>・10 時～11 時 30 分<br>・10 回開催予定<br>○定例部会・・毎月開催 | | | | |
| 事業名 | 広場のびのび | 責任者：平石　幸子 | | | |
| 実施会場 | ちはら台コミュニティセンター2 階会議室 | | | | |
| 事業内容 | ① 『広場のびのび』の年間活動計画策定と円滑な運営(自由遊び型)<br>②親子交流の場の提供と子育て相談窓口支援 | | | | |
| 年間予定 | ○『広場のびのび』開催<br>・毎月　第 1・3 月曜日<br>・10 時～11 時 30 分<br>・19 回開催予定（９月はお休み）<br>・直接支援部会と連携した子ども預かり(ママレスキュー)の実施 | | | | |
| 事業名 | すまいる | 責任者：河本 千鶴代 | | | |
| 実施会場 | 水の江小学校学童保育室 | | | | |
| 事業内容 | ① 『すまいる』の年間活動計画策定と円滑な運営(自由遊び型)<br>②親子集いの場の提供と子育て支援情報の提供 | | | | |
| 年間予定 | ○『すまいる』開催<br>・平日毎火金曜日 10 時～12 時（4、8 月全休、学校行事により休みあり）<br>・直接支援部会と連携した子ども預かり(ママレスキュー)の実施<br>・月 1 回のミニイベント･体験ミニレッスンの実施、子供服などリユース<br>○定例部会・・奇数月開催 | | | | |
| 事業名 | サードプレイス・サチハピ | 責任者：深町　幸世 | | | |
| 実施会場 | ちはら台コミュニティセンター多目的室 | | | | |
| 事業内容 | ① 多世代交流の場の提供と不登校支援<br>② 参加型ワークショップ企画・実施 | | | | |
| 年間予定 | ○『サチハピ』開催 | | | | |

| | |
|---|---|
| | ・毎月 2 回金曜日 10 時 30 分～15 時 30 分(責任者都合により変更あり)<br>・月１回サチハピ＋1 のワークショップや不登校お話会などを実施 |

【コミセン共催行事】

1,『夏のお楽しみ会』

・7 月 26 日(日)　劇団風の子公演開催予定

2,『クリスマス会』

・12 月 10 日(木)　子育て広場にて開催予定

## 高齢者支援部会

| 部会名 | 高齢者支援部会 | 部会長 | 秋山　廣志 | 部会員数 | １４＋１４＝２８名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 部会目標 | 地域高齢者のコミュニケーションを図り、健康増進と生きがい造りを推進するとともに、地域での孤立化を防止する。 | | | | |
| 取組事業 | ①　茶話会１ | | ②　茶話会２ | | |
| 事業名 | ふれあい広場 | | 事業名 | 憩いの広場 | |
| 責任者 | 柏原　裕子 | | 責任者 | 秋山　廣志 | |
| 実施会場 | コミセン第 1、2 会議室 | | 実施会場 | コミセン第 1、2 会議室、<br>視聴覚室 | |
| 事業内容 | ７０歳以上の方で、ご自分で会場に来られる方対象<br>・談話、茶話会　・健康体操<br>・脳トレ・各種レクリエーション | | 事業内容 | 会場までご自分で来られる方対象<br>・談話、茶話会<br>・脳トレ・各種レクリエーション<br>・カラオケ交流会（希望者） | |
| 年間予定 | 令和８年4.16, 5.21, 6.18,7.16, 9.17,10.15,11.19,12.17<br>令和 9 年 2.18,3.25(第４木)<br><br>特記なきは第３木曜日<br>8 月・１月休会、１２月クリスマス会、１月はスタッフ会議実施 | | 年間予定 | 令和 8 年 4.2, 5.7, 6.4, 7.2, 8.6　9.10（第２木）,<br>10.1, 11.12（第２木)、<br>12.24（第４木）<br>令和 9 年 1.14（第２木）, 2.11（第３木）, 3.18（第３木）<br><br>特記なきは第１木曜日<br>１２月はクリスマス会 | |

## 障がい者支援部会

<table>
<tr><td>部会名</td><td>障がい者支援部会</td><td>部会長</td><td>樋口　誠一郎</td><td>会員数</td><td>2：名</td></tr>
<tr><td>部会目標</td><td colspan="5">障がい者と健常者が一同に集い、バリアフリースポーツ、ミニライブコンサート、野外活動,カフォン教室を通じて、障がい者の心と体の健康維持・向上を図る。ふれあいコンサートを一般健常者と障がい者の交流の場とし、理解を一層進める。<br>新たに、災害時の障がい者の支援について具体策を検討し、理事会へ提案する。</td></tr>
<tr><td rowspan="13">取組事業</td><td colspan="5">① 部会会議<br>毎月、原則第 1 土曜日　13：00～　コミセン第 4 会議室　11 回開催<br>年間活動計画の実施案検討、準備その他について審議し具体化する。</td></tr>
<tr><td colspan="3">② 虹の会</td><td colspan="2">③ ユニバーサルースポーツを楽しむ</td></tr>
<tr><td colspan="3">責任者：根岸　茂</td><td colspan="2">責任者：岡本・泉・根岸</td></tr>
<tr><td colspan="3">コミセン第１～３会議室</td><td colspan="2">コミセン体育室･ちはら公園多目的スポーツ広場</td></tr>
<tr><td colspan="3">年 5 回実施：<br>第 75 回　6 月 15 日(日)、<br>第 76 回　9 月 28 日(日)、<br>第 77 回 11 月 30 日(日)、<br>第 78 回　1 月 25 日(日)、<br>第 79 回　3 月 1 日(日)<br>(第 13 回ふれコン Prime 楽団)<br>バリアフリースポーツで体を動かし、汗を流し、ミニライブコンサートで和やかな時間を過ごし心と体の健康増進を図る。交流会で相互に語り合い、活動の進化、多様化などの具体化をはかる。</td><td colspan="2">ユニバスポ：7 月 12 日（日）9 月 13(日),2 月 14 日（日）<br>モルックを楽しむ：5 月 10 日(日)、11 月 08 日(日)<br>（ちはら台多目的スポーツ広場）<br>モルック練習会：4,～12 月第 1 と第 3 日曜弥生<br>ピックルボール：5 月 13 日（水）　12 月 9 日（水）9：00～11：00<br>障がい児童とボッチャ、卓球バレー、ピックルボール紙飛行機滑空などで、存分に大汗をかいてプレイし楽しむ場とし、ユニバスポの効果を認識し、障がい者へ広める。</td></tr>
<tr><td colspan="3">④ 野外体験会</td><td colspan="2">⑤ カフォン教室</td></tr>
<tr><td colspan="3">責任者：菊池・樋口</td><td colspan="2">責任者：樋口</td></tr>
<tr><td colspan="3">大網不動岩海岸、稲毛海浜公園</td><td colspan="2">パークシティ・リスニングルーム</td></tr>
<tr><td colspan="3">実施予定時期；7 月、10 月<br>障がい者が自然の中へ一歩足を踏み込み、心で感じることが求められている。<br>野外用車いす（HIPPOCAMPPE）に乗車し、大海原を体験して頂く。<br>砂浜散歩、海水浴を計画する。<br>さらに、　他社協との共同を試みる</td><td colspan="2">毎月第 2 日土曜日、13：30～15：30<br>ギター奏者が指導して、どんな障がいがあっても♪に挑戦する場として、打楽器「カフォン」に親しみ、楽しむ。音楽を通じてエネルギーを内に湧きだたせ、障がい者の心と体の健康の向上を図る。<br>年に 1 回虹の会の場で発表の場を設ける。</td></tr>
<tr><td colspan="3">⑥車椅子者映画鑑賞会</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3">責任者：田村・菊池</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3">コミセン視聴覚室 12:00～17：00</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td colspan="3">年 4 開催<br>5 月 24 日、7 月 5 日、10 月 25 日、3 月 21 日<br>画像芸術を通じて広い世界と触れ合い、心の豊かさを養成する。</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

## 小域福祉ネット部会

| 部会名 | 小域福祉ネット部会 | 部会長 | 鈴木　俊江 | 会員数 | 121 名 |
|---|---|---|---|---|---|
| 部会目標 | 「市原市地域福祉計画」や「市原市地域福祉活動計画」が目標とする、地域住民の誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すため、地域の各種団体（自治会、民児協など）と連携・協働しながら小学校区単位において住民の日常生活を支える視点に基づく地域福祉活動の推進に努める。<br>（各 4 小学校区小域福祉ネットワークに位置づけられる） | | | | |
| 取組内容 | 〈1〉　地域主体の子どもの見守り事業の継続、推進<br>〈2〉　子どもの安全・安心を守る活動の推進（交通安全推進隊に協力）<br>〈3〉　各種団体主催の会議、研修会に参加<br>〈4〉　各小学校区別活動<br>① 自治会、各種団体などと協働で地域福祉活動の構築を図る<br>（日常生活支援、見守り支援、防犯・防災、交流会など）<br>② 地域共生活動として桜小学校区で軽スポーツを通じた世代間交流会を実施する。<br>③ 子供の居場所づくりを推進する。（小学生等の居場所づくり（新規））<br>・清水谷小学校区で子供の居場所づくりを実施する。（子どもカフェ）<br>・水の江小学校区で子供の居場所づくりを試行する。（水の江っこ広場） | | | | |